

神立駅西口地区土地画整理事業の実現に向けた行政の役割について



川原場明朗議員

**質問** 現在進めている神立駅西口区画整理事業は、駅西広場や危険な県道の整備改良により、駅前にあさわしいまちづくりの推進のスタート事業として、地元関係者や地権者の皆さまに事業内容の提示説明をした。しかしながら数名の未同意者を理由として事業推進が図れないとするならば、同意が得られない場合は、事業を休止または廃止するか、見解を伺う。

**副市長** 現在、権利者三十八名のうち二十七名が同意、検討中が四名、未同意が七名となっており、懸命に合意形成に取り組んでいる。現段階では、同意いただいている皆さまに対して戸別訪問を継続し、何としても関係権利者のご理解を得ながら、本市の北の拠点、かすみがうら市との交流拠点にあさわしい市街地の形成を目指したいと考えて

いる。今後も権利者の皆さまの同意が得られるよう、懸命な努力をしてまいりたい。



神立駅西口

新・市役所建設の具体的な考え方について



竹内 裕 議員

**質問** 新庁舎建設について、先進事例の研究等を行うと聞いているが、具体的な研究内容について伺う。また、審議会を正式に発足させ、候補地選定や事業費等について審議を行うべき時期にきていると考えるが、見解を伺う。

**副市長** 庁舎の建設については、現在、庁舎規模等の再検討など、課題の解決に向け、

先進地の状況調査を実施し、基礎的なデータの収集・分析を行なっているが、まずは、最新の庁舎の事例の現地調査を行い、より有効な情報収集に努め、事務レベルでの作業を十分積み重ねてまいりたい。今後は、来年度に市民アンケートの実施、内部検討組織での課題の対応についての議論を重ね、その後庁舎建設審議会を立ち上げ、立地場所等の諮問・答申・基本構想の策定、住民説明会等の開催、実施設計等を経て建築工事の着工となるが、その間、逐次議会への説明、ご意見をいただきながら進めてまいりたい。また、整備期間は合併特例債の発行期限を視野に入れたスケジュールになると考えているが、まずは庁舎建設基金の予算積立を再開するなど、一歩一歩ステップアップし、確実な実現に結び付けてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 一 イオン土浦の効果と課題及びリニューアルオープン予定の駅ビルの現状について
- 二 耕作放棄地の現状と対策について

総合的なごみ行政とCO2対策について



古沢喜幸 議員

**質問** ごみは宝の山、燃やせば多額の費用と温室効果ガスの発生に直結する。これらを解決するには、燃やすごみを少なくする以外に方法は無い。そのためには徹底した分別収集を行うことが求められる。また、家庭から出る生ごみや草、伐採した枝については、堆肥化して土に戻すことが最も良い活用方法であると思われるが、見解を伺う。

**市民生活部長** 本市では、土浦市ごみ処理基本計画の後期計画に基づき、ごみの発生抑制とリサイクル推進を図っている。平成十二年度のごみの焼却量を基準として、二十三年度までに十七%の削減目標を掲げており、二十年度終了時点で十四%に到達していることから、引き続き市民、事業者、市の三者が一体となって早期目標達成に向けて取り組んでまいりたい。また、生ごみ処

理容器の普及拡大に努めるとともに、本年度策定を予定しているバイオマスタウン構想の中で、食品廃棄物の利活用、草や剪定枝等の堆肥化等、事業化に向けて調査検討を行い、資源循環型社会にあさわしいごみ処理システムの構築を図ってまいりたい。

**(掲載以外の質問事項)**  
二 水道事業について  
新川の資源を有効に活用する観点から、観光・環境面での早急な整備について



井坂正典 議員

**質問** 今年の桜まつりは天候にも恵まれ、市民協働型の春のお祭りとして、市民の満足度も高まったと思われる。特に本年は、ラスクマリナーやNPO法人新川水辺交流会、霞ヶ浦市民協会等の皆さまの協力によって、新川堤の桜を船に乗って観覧し、多くの観光客が大変満足したと聞いている。水郷土浦の復活の観点からも、新川の観光・環境面での整備は必要と考えるが、見解を伺う。